

熊 本 子 と も 囲 碁 便 り



No.40 2015. 4. 20

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



児童たちから感謝の贈り物



広安小学校児童育成クラブにおける平成26年度の囲碁教室は、3月18日が最終回でした。
週1回のペースで、年38回実施しました。

初回（5月）の参加者は18名、最終回は17名でした。多い時は27名にもなりました。

最終回の日には、子ども達から指導にあたった講師陣7名全員に、感謝の「首飾り」と「お礼の品」が贈られ、講師陣は皆大喜びでした。

その返礼ではないのですが、子ども達の対戦カードに「30級に認定します」と書いて渡したところ、子どもたちも大喜びでした。来期は全員が30級からスタートです。

新学期に入ったら、勝てば「❀のシール」、負けは「☆のシール」を貼ることとし、「❀のシール」は3枚、「☆のシール」は5枚集めたら昇級することを周知したところ、子ども達の顔つきが変わりました。「❀のシール」が欲しくなったのでしょうか。来期も多くの児童が参加してくれそうです。

子ども達の、囲碁に対する姿勢もマチマチです。対局場の環境にも悩みがありますが、学童保育担当の先生方とも協力しあって、未来の名人の基礎づくりに励みたいと思っています。

《広安小学童担当 藤堂昌邦》



お礼の首飾りをかけてくれる子ども達



首飾りが光ってます！指導陣！

お



○約一年間を通しての児童育成クラブ囲碁教室で指導いただいた囲碁普及指導員のまとめの声を次ページに紹介します。

「向山小学校児童育成クラブ」

始めた時は、ルールやマナー、授業の時の約束、囲碁の効果の説明しました。

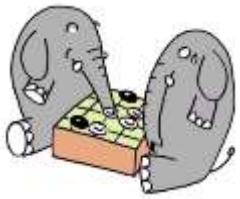
子ども達の気持を遊びから囲碁へ切り替えるため、また、日本文化を知ってもらうために、熊本の妖怪話を絵に描いて冒頭に紹介。これは囲碁に集中できるきっかけが作れたような気がします。

9路盤から13路盤、19路盤に移行する時は、「本人の自信がついたら・・・」ということを目安にしました。楽しめるということが一番なので、楽しみを最優先に慌てずやりました。

二学期終盤にはきちんと終局を出来るようになりましたので、年末には学童クラブ内での囲碁大会を行いました。学年別で学童の先生達と賞品を持ち寄り、学年のチャンピオンを決めて、とても盛り上がりました。

学童は囲碁をやりたい子ども達ばかりではありません。保護者からも宿題をさせてほしいとの声がありました。囲碁の良さを伝えることは大切だと思います。何よりも向山小学校学童では先生方の協力体制が大変素晴らしかったです。本年度も囲碁教室も実施することが決定しています。

焦らず楽しんでみんなで囲碁に取り組めるように引き続き工夫をいしていきます。（担当 坂本）



『白川小学校児童育成クラブ』

1～3年生の20名を対象に、「一年後19路盤での対局」、かつ「楽しく、解り易く、参加型」を目標に指導を行ってきました。ルール、マナーから始まり、石のとり方などを教えました。9路盤、13路盤とすすみ、3月には19路盤で終局までできるようになりました。

最後に子ども達から手紙をもらいました。手紙には「楽しかった」「解り易く教えてくれてありがとう」「褒めてもらって嬉しかった」「最初は解らなかったが、解るようになり強くなりたい」等、お礼の言葉がたくさんあり嬉しく思います。試行錯誤の一年間でありますが、子ども達との触れ合いに時間を過ごせたことをとても感謝しています。子どもたちも“囲碁の日”と言って、楽しみにしていてくれ、学童保育の先生方にもご協力をいただき嬉しく思います。

囲碁を通して、集中力、コミュニケーション能力、豊かな発想力、礼儀、感謝の心を育み、そしておもしろいのある人に成長してくれることを望みます。（担当 八塚）



「清水小学校児童育成クラブ」

囲碁を全く知らない子ども達へ、囲碁本来の持つ楽しさ、面白さを解ってもらえればと思って4月より始めました。最初に「囲めば取れる」「逃げ道のない所へは打てない」ということから始めたので、最終的に「地の多いほうが勝ち」「地を囲う」という観念がなかなか理解できないようでした。

部分的な石のとり方は解っても、全体的に「陣地」の大きさを考えながら打つという大局観をどうしたら理解してもらえるのが今後の課題だと思います。一回の指導時間が短いのも悩みの一つでした。そして何より、学童の担当の積極的な参加、協力が必要だと思います。囲碁に大切な「礼儀」「集中力」が欠けていたところもあったようです。清水小は3月で終了ですが、このまま終わったらせっかく1年間学んできた子どもたちは、今後囲碁を続ける事が無いかと思うと心残りの感もあります。（担当 中村）

「桜木小学校児童育成クラブ」

週に一度一時間の囲碁指導をしてきました。

黒板に 9 路盤で問題を出し、子どもにわかりやすく説明、手を挙げて答えたら誉めてあげるようにしました。その後は子ども同志で対戦し、白黒目数を数えさせ勝負を決めます。時々、指導者と子どもと対戦し楽しく遊ぶことにしています。

熊本子ども囲碁便りに載せてある交流会对局会場の子どもの写真を見せて、はやく子ども囲碁大会に出られるように頑張らねばと励んでいます。（担当 吉田）



「鮑田南小学校児童育成クラブ」

当初は、学童保育を実施している藤崎保育園で学童のみを対象に行っていましたが、園からの希望もあり、年長組と一緒にやるようになりました。2 部授業でやっています。

囲碁教室も最初はめずらしいようで、石取りゲームに夢中になり喜んでいましたが、暇つぶしで遊んでいるような子どもが現れはじめたら、だんだんと積極的に囲碁を勉強しようという子どもも減ってきたように思います。私達指導員の中にもそういう姿勢をストレスに感じ辞めてしまう人がいました

13 路盤から 19 路盤にはなかなか移行できませんでした。私達の指導方法も反省するところがあるかもしれませんが、学年が違う子どもと一緒に教えるというのはなかなか大変だと実感しています。

楽しくさせるだけにしておいたら上達にはつながりません。

スタッフの先生の協力は不可欠だと感じています。段々、熱心に参加する子どもが減ってきたことが残念です。

（担当 村上）



「託麻原小学校児童育成クラブ」

囲碁は全く初めてという子どもばかりだったので、囲碁の歴史からマナーなどについて話すことからはじめました。ここの学童は校舎の中の一教室を 3 年生が使っていました。教室の大きな黒板を使い 3 年生だけを対象に囲碁教室をはじめられたことはいい条件だったと思います。

20 人近い子ども達でしたが、人の話に耳を傾けることができ、静かで落ち着いた雰囲気があったような気がします。

スタッフの先生方も 2 人いて、一緒にゲームを楽しんでくれました。また、騒ぐ子ども達がいたら声をかけて注意してくれました。もちろん、途中から入室してくる子どもや習いごとで途中で帰宅する子どもなどいましたが、この一年おちついて囲碁普及できたと思います。

子どもたちは 19 路盤での対局もできるようになり、私が到着したときにはすでに自分達で対局を始めている姿がみられました。

最後に・・・全員 3 年生だったので、学童が終了するこの春からは、囲碁を楽しむ機会がなくなるのが心配です。学校内での囲碁クラブなどの活動がないのが残念です。

ほとんどの子どもがかなり囲碁をうてるようになったので、文部科学大臣杯の学校団体戦に「託麻原小学校」でチームを組んで出場できるようになればいいなと思いました。（西山）

「尾ノ上小学校児童育成クラブ」

昨年 11 月から学童保育囲碁教室を開催しています。いつも 10 名程度参加しています。

宿題をする子ども達、雑談をしたり本を読んだり、外遊びをする子ども達にわかれています。

この一角に囲碁コーナーがあり、大変騒々しいです。集中力に欠ける子は勝手に離席してしまうので大変でした。

囲碁は石取りゲームから始めました。慣れてくると夢中になり自分達でゲームができるようになりました。

1 月から囲碁（場所取り）を教え始めました。石のとり方、逃げ方など毎回繰り返し教えました。入門の入り口であり、ここを「楽しい、面白い」と解ってもらえるように、一番苦労しました。

週の決まった時間に教室に行くと、子どもたちは入り口で「碁の先生が来たと歓迎してくれるようになりました。一人でも多くの子ども達に、囲碁を知らせ、囲碁の楽しさを知ってもらうように役立っていくのではと感じています。27 年度も囲碁を教えます。専用の教室が欲しいです。（担当 田中）

ある日のおやこ囲碁交流会から・・・

新年度最初の蓮台寺教室。人数も増えて、だんだん盛り上がっています！

小さい子がまた増えて、

その意味でも盛り上がっています。入学式終わったばかりの一年生も二人。

とても楽しんでくれているようです。差し入れも頂いて、おやつも豪華ですよ。

説明の部分では、両アタリの練習をしました。

初心者では、

両アタリを使え、防げるとだいぶ勝利に近づきますよね。

先生との対局でも、

両アタリを見つけたら、

必殺！両アタリ～！と言いながら、楽しんでやっています。

少しずつ頑張りましょう！（坂本新吾）

『大分熊本子供囲碁交流合宿』を開催しました！！

皆さんこんにちは！ヒカルの碁スクール『阿蘇』の藤崎です。



新学期も始まり、皆さんそろそろ新しいクラスや学校になれて来たところでしょうか？

今日は 3 月 31 日・4 月 1 日に行われた交流囲碁合宿のご報告です。

一昨年に、大分中学高校の囲碁部顧問安部孝文先生の呼びかけで始まりました交流合宿は、今年三回目を行いました。毎年楽しみに参加してくれる子供も多く、大分から 10 名（男子 8 名女子 2 名）、熊本は 3 教室から 9 名（男子 5 名女子 4 名）が参加してくれました。初日は、私と安部先生、板垣友輝君が八段格で指導碁を中心に大会形式で対戦し、優勝首藤海ちゃん、二位朝來野元充君、

三位首藤ひかる君と言う結果でした。

その夜は、阿蘇のお宿『ゲストハウス阿蘇楽 (Asora) 』<http://www.aso.ne.jp/asora/>を貸しきりで泊まりました。

晩御飯は、自炊ですが毎年お世話係で参加して頂いている、保護者の首藤千寿子さんが食材やおかずを用意して下さり、今年は焼きそばを作りました。私もお手伝いし二人でホットプレート 2 台使い、13 人に対し 19 玉の焼きそばを作りました。その他サラダや筑前煮、お揚げピザなどを家で作ってきて下さいました。首藤さん、いつも有難うございます<(_ _)>

食後子供達は、人生ゲームで盛り上がったようです。大人三人は、残ったおかずや焼きそばで酒盛りをして、色々楽しい話を聞かせてもらえました(^ ^♪

二日目は、託麻囲碁クラブから 1 人、母と子の囲碁教室から 6 人が参加してくれました。

指導碁は、私と安部先生、普及会会長の江藤先生で行い、やはり大会形式で対局しました。

お昼は、阿蘇青少年交流の家で 500 円のバイキングを食べましたが、値段以上の豪華さでした、(^ー^)ノ

昼からは、ペア碁をしてその勝敗も個人戦に加算した結果、優勝は馬場友野ちゃん、二位樋田望ちゃん、三位佐々木悠君でした。三人とも母と子の囲碁教室勢が占め、熊本が圧勝でした。大分勢は二桁級の子が多く、来年までにどれくらい上達してくれるか楽しみです(^ ^♪

三時ごろ終会になりましたが、その後モーモーファームへ皆で行って、動物と触れ合ったりソフトクリームを食べたりしてひと時楽しんでから、また来年会いましょうと言う事で解散しました。

参加してくれた子供達には、良い思い出と棋力アップが少しでも出来ていたら、幸いです。

来年も、開催予定ですので熊本の級の人もし是非参加してみてください♪(^ー^)ノ



満開の桜の下で . . .



3 月 29 日、一新子ども囲碁まつり、子ども囲碁大会を開きました。



参加者は子ども 12 名、スタッフ、保護者 8 名。晴天の段山八幡宮の境内の桜の下、お花見食事会で親睦を図り、一人 3 局打ち、平瀬 6 級と坂井耀 17 級が 3 勝して表彰されました。

これからも保護者の方にも親睦会や交流会に参加してもらう企画を計画したいと思っています。

“生徒募集中” です！！

★一新教室

★夏休みの子ども文化会館教室

(一新教室 毛利)



先生も燃えました！！

3月26日午前10時より菊陽西小学校学童クラブで囲碁教室を開催しました。

講師はベテランの藤崎幸次郎さんです。小学2、3年生の16名が初めての体験。ルールやマナーの説明の後、早速男の子と女の子チームに分かれて石取りゲーム。全員で燃えました。

その後4つのグループに分かれて2人ずつ向き合い同じく石取りゲーム。スタッフの3人の先生方の協力のもと楽しく充実した時間となりました。先生も夢中になり、とても楽しかったという感想とともに継続したいという嬉しい言葉をいただきました。



熊悠会設立二十周年記念祝賀碁会

さる2月20日に、熊本県女性囲碁愛好者の団体「熊悠会」設立二十周年記念イベントが行われました。

第1部として、午後に日本棋院熊本県支部で記念碁会が開かれました。これには、日本棋院東京本院から大竹英雄名誉碁聖、前田良二七段、久保秀夫六段の3人のプロ棋士の先生方が駆けつけて下さいました。これに現在肥後本因坊である内田直也アマ七段を合わせて、参加者を4チームに分け、1チーム15名の団体戦で戦いました。最後の三局目は大竹先生の発案で、連碁での勝負になりました。連碁といっても大盤の連碁ではなく、15人の2チーム30人で1局の碁を打つというものでした。各チームは級位者から高段者で編成しており、伝言ゲームのように隣が打った碁を自分たちの碁盤にも並べていく形式でした。級位者から始まり高段者まで行き着くとまた高段者から級位者に回っていくというやり方でした。初めてのことで最初は皆戸惑いでしたが、次第に慣れてきて、歓声やため息があがったりしました。級位者にとってはなかなか学ぶことの多い1局でした。結果は、2局目までは劣勢だった大竹チームが逆転勝ちで優勝し、チーム全員への賞品は大竹先生のサイン入りの本でした。各先生方の指導碁もあり、充実した半日を過ごしました。

夜は第2部として鶴屋ホールで祝賀パーティが開かれ、田村房子先生と熊悠会設立と同じ年にプロになられた久保秀夫六段に花束が送られました。

熊悠会 会長 本田

大会のお知らせ

東京熊本県人会「碁楽会」のご案内・・・

日 時：5月30日（土）13：00～17：00
場 所：日本棋院有楽町囲碁センター
会 費：碁会のみ 2000 円・懇親会 3000 円程度
申し込み：江藤剛（090-6164-9273）

3回目の開催となります。前回は昨年の5月に行われ、小学生から80歳まで30名ほどがあつまり交流を深めました。初心者から有段者まで参加者も様々ですので、ぜひお知り合いの東京在住の方にお知らせ下さい。また、熊本の囲碁愛好家で上京される方も大歓迎です！！

熊本囲碁研鑽会のご案内

と き：5月5日（祝）
ところ：日本棋院熊本県本部にて（096-363-4964）高校生以下は有段者が対象です。

「第36回 少年少女囲碁熊本県大会」

主 催：熊本日日新聞社
日 時：5月10日（日）受付 9：00～9：30 対局開始 10：00
会 場：熊本日日新聞社本館2F（熊本市中央区世安碁 172 096-361-3382）
資 格：県内在住の中学生以下の男女
参加費：1000円（軽食、参加賞付き）
対 局：県代表選抜大会 ・ 段級位任天大会 ・ 初級大会（13路盤）
※県代表選抜大会は小、中学の部優勝、準優勝は夏休みに全国大会（東京）に出場

城南公民館入門教室

主 催・熊本市城南公民館
と き：5月23日・6月6日・6月20日・7月4日・7月18日いずれも午前9：30～11：30
料 金：無料 どなたでも（子ども～大人まで）
問い合わせ：城南公民館 0964-28-1800
講 師：鶴山繁實



<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>



ホームページです

最新の情報を載せて
います。ぜひ訪問して
下さい！

主旨に賛同いただき、賛助会費として継続を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・ 熊本電気鉄道（株）・ 日本郵政グループ労働組合九州地方本部
ルンビニー幼稚園・ 日本棋院託麻囲碁クラブ支部・ R K Kカルチャーセンター・ （有）草野企画
重光産業（株）・ （株）熊本銀行・ 福田病院・株式会社かんぽ生命保険熊本支店・全労済熊本県本部
ましき耳鼻咽喉科クリニック・日本棋院人吉球磨支部・熊本市内官公庁等囲碁大会事務局
熊本母と子の囲碁教室・（有）エムティエス松本・日の丸産業（株）

個人会員

長田幸基・ 宮崎享・ 松本晴子・ 鳥井郁代・ 吉永茂・ 桑原五夫・ 石川至孝・ 岐部英登・ 川口雄一
島田万里・ 田口信夫・ 塚本清・ 風口英利・ 徳尾芳道・ 徳尾幸子・ 藤本和美・ 上野剛彦・奥村拓司
大原照久・ 安川俊文・古家 守・ 新道哲也・ 湯村フク・寺尾敏子・満井浩一・ 下地朋友・ 下地君代
田中力男・ 鶴山繁實・ 古賀征生・ 渡辺武 ・ 加納剛太・ 石塚正司・ 板垣草人・ 駒崎照雄・ 瀬口良三郎
畠中直幸・ 畠中忠俊・ 江藤 剛・ 松田 敏・ 後藤修一・ 松尾 孝・ 八塚敬子・ 竹屋純子・元田美智子
蓑田耕太郎・宮川秀樹・宮川哲就・田坂照夫・宮永康男・古田 浩・江藤 茂・江藤由久子・西 徳義・
坂田祇彦・岩下 弘・江富佑子・芦田 司・古庄 剛・大島國壮・檜 國雄・毛利秀士・見寄裕一・鎌田聡
寒野猶富・酒井ちはる・板井太志・中野昭二・宮川隆二・坂口信春・坂口仁寿・川上龍一・大森貞夫・峰由香
(順不同・敬称略)

各地の教室・・・(アイウエオ順)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ○ R K Kカルチャーセンター子ども囲碁講座 | (熊本市東区長嶺 096-383-3900) |
| ○ 一 新 こ ど も 囲 碁 教 室 | (熊本市中央区新町 096-352-7639) |
| ○ 尾ノ上コミュニティセンターこども教室 | (熊本市東区尾ノ上 096-340-8731) |
| ○ 上 通 子 ど も 囲 碁 教 室 | (熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005) |
| ○ 熊 本 母 と 子 の 囲 碁 教 室 | (熊本市東区下江津 096-370-2263) |
| ○ さくら通り・蓮台寺 親子囲碁交流会 | (熊本市西区蓮台寺・平成 080-3376-0407) |
| ○ 佐 土 原 子 ど も 教 室 | (熊本市東区佐土原 096-367-1707) |
| ○ 託 麻 囲 碁 ク ラ ブ | (熊本市東区保田窪 096-382-0174) |
| ○ 玉 名 立 願 寺 楽 碁 長 屋 子 ど も 教 室 | (玉名市立願寺 0968-73-9008) |
| ○ 日 本 棋 院 玉 名 支 部 教 室 | (玉名市岩崎 0968-74-4968) |
| ○ 日 本 棋 院 人 吉 球 磨 支 部 教 室 | (人吉市城本町 0966-28-3111) |
| ○ ヒ カ ル の 碁 ス ク ー ル 「 阿 蘇 」 | (阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045) |
| ○ 武蔵ヶ丘コミュニティセンター子ども囲碁教室 | (菊池郡菊陽町津久礼 096-232-5697) |
| ○ 松尾東子ども囲碁教室 | (熊本市西区上松尾 096-329-6951) |

編集後記

このお便りも40号を迎えることができました。今回はこの一年間学童保育クラブで囲碁指導をされた方の声を載せています。皆さん囲碁に熱い情熱があり、子どもの成長にすばらしい効果をもたらすと確信している方ばかりです。小さい身体にランドセルを背負って登校する姿をみるにつけ子ども達の幸せを願わずにはおれません。 (西山)